# 私学経営研究会（理事長・校長部会）

東日本大震災の被災者の皆様のために、一刻も早い復旧・復興を心よりお祈りいたします。
今年度の理事長・校長部会の研究目標は、私学が目指す『共に生きる』教育－私学が拓く新たな教育－といたしました。
そこで、世界から注目を浴びているフィンランドの教育については福田誠治都留文科大学副学長より、日本の教育行政については鈴木寛文部科学副大臣にご講演いただきます。なおフィンランドの教育については当研究所長清水が昨年、当地で研修を行いましたので、そのご報告もいたします。
また昨年度この理事長・校長部会で大変ご好評をいただきました、吉田晋日本私立中学高等学校連合会会長と近藤彰郎東京私立中学高等学校協会会長、同實吉幹夫副会長によるパネルディスカッションを今年度も行います。これらの内容をもとに論じ合い、話し合う中に、新たな教育の扉が開かれることと存じます。
今般の未曽有の災害は私たちの生活を根底から揺り動かし、今までの生き方やあるいは価値観の問い直しを迫っているように感じます。また、グローバル化された世界では、新たな価値観や倫理観を必要とし、民族や宗教、文化や伝統の違いを乗り越えて共生する知恵が求められています。私立学校には、これまで社会に存在する諸問題に正対し社会の要請に応えるべく先進的に取り組み続けてきた歴史がありますが、今後もグローバルな世界で、共に生きる子供たちを育てるために、新たな教育に挑み続けることが求められています。
このような状況を踏まえ内容を検討したしました。いずれも、理事長・校長として重責を担っておられる皆様に、ご満足いただける充実したプログラムです。同時に、新任の方も経験豊かな方も共に語り合い、和やかに親交を深める貴重な機会となっております。ご多忙の折とは存じますが万事お繰り合わせのうえ、ご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

1．研究目標　　私学が目指す『共に生きる』教育　－私学が拓く新たな教育－

2．会　　期　　7月26日（火）・27日（水）・28日（木）の3日間

3．会　　場　　かずさアーク・オークラアカデミアパークホテル
〒292-0818　千葉県木更津市かずさ鎌足２－３－９
ＴＥＬ：０４３８－５２－０１１１　ＦＡＸ：０４３８－２０－５２１０
※別紙交通のご案内をご覧ください。

4．募集定員　　50名（理事長・校長・副校長等）

5．日　　程

| 月日＼時間 | 9〜1 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 7月26日（火） | | 受付 | 開会式 | オリエンテーション | 教育講演 | 休憩 | 夕食・懇談会 | | | |
| 7月27日（水） | 朝食 | 報告 | 休憩 | 分散会 | 昼食 | 特別講演 | 休憩 | 分科会 | 休憩 | 夕食・懇談会 |
| 7月28日（木） | 朝食 | 全体会 | 閉会式 | | | | | | | |

（時間目盛：9　10　11　12　1　2　3　4　5　6　7）

６．研修内容

**①教育講演**（26 日　15：00〜17：00）

**演　　題　「フィンランドの教育課程と OECD の構想」**

**講　　師　 福田 誠治 都留文科大学副学長**

プロフィール

●1950年生まれ、都留文科大学副学長、比較文化学科教授。研究テーマは「人間形成論」、教育哲学／比較文化専攻。ソビエト教育学を一貫して研究。とりわけ、1920年代の新教育の理論をテーマとした。近年は、ソビエト・ロシアおよびヨーロッパの教育分野における民族問題、とりわけ言語権について研究してきた。2005年以降、フィンランドの教育を集中的に研究しており、毎年２回ずつ訪れている。また、文科省の科学研究として、この３年間は中央アジア諸国の教育調査に赴いている。研究成果は、国際機関の教育戦略に関するもの（日本教育学会）、北欧の教育制度･教員養成などに関するもの（比較教育学会）などが公表されている。

著書には、『競争やめたら学力世界一』『競争しても学力行き止まり』（ともに朝日新聞出版社）、『格差をなくせば子どもの学力は伸びる』『フィンランドは教師の育て方がすごい』（ともに亜紀書房）、『子どもたちに「未来の学力」を』（東海教育研究所）などがある。

**②報　　告**（27 日　9：00〜10：00）

**演　　題「フィンランドのキャリア教育・職業教育」**

**報 告 者　清水 哲雄 東京私学教育研究所長（東京私立中学高等学校協会副会長）**

**③分 散 会**（27 日　10：15〜12：15）　フィンランドの教育について
（①教育講演と②報告をうけて）

**④特別講演**（27 日　13：30〜15：00）

**演　　題「日本の教育行政」**

**講　　師　鈴木　寛 文部科学副大臣**

**⑤分科会**（27 日　15：15〜17：30）

Ａ．防災・危機管理、新カリキュラム対応、学校評価、保護者対応等、その他申込書に記載していただいた内容のディスカッションをします。（３グループ）

Ｂ．校長職について（1 グループ）
※新しく校長職に就かれた方や当研究会初参加の方向けのグループです。
参加される方の話し合いたい事柄に合わせ、校長職経験豊富な委員も参加し有意義な示唆を交えて運営いたします。

**※参加申込書の分科会の欄のＡ，Ｂに○印をお付け下さい。またＡの場合は、協議題にも○印をお付け下さい。その他、分科会で討議したい事項や話題もぜひ記述欄にお願いいたします。**

**⑥全体会**（ﾊﾟﾈﾙﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ）　**「最新の教育政策について」**（28 日　9：00〜11：00）

**パ ネ リ ス ト　吉田　 晋　日本私立中学高等学校連合会　会　長**
**近藤　彰郎 東京私立中学高等学校協会　会　長**
**コーディネーター　實吉　幹夫 東京私立中学高等学校協会　副会長**

７．委　　員（順不同）

| | | |
|---|---|---|
| 委員長 | 山 本 与志春（青 山 学 院） | 實 吉 幹 夫（東京女子学園） |
| | 平 　美佐子（桜 　丘） | 髙 橋 　博（聖パウロ学園） |
| | 増 田 幹 子（駒 場 学 園） | 宮 本 　治（東京電機大学） |
| | 渡 辺 眞 人（共 立 女 子） | |